かしこい消費者になるために Q&A 第3回

問い合わせ先　市役所駅南庁舎市民総合相談センター
TEL（0857）20-3862

Q

投資目的でマンションを購入しないかと、自宅や勤務先に勧誘電話がかかってきます。断ってもしつこくかけてくるのですが、やめてもらう方法はないでしょうか。

A

電話で購入の勧誘を受けたときは、買うつもりがなければ、きっぱりと断ることが何より重要です。

電話勧誘を断るポイントは、あいまいな断り方をせず、早い段階で断り、「この人を勧誘しても契約できない」と勧誘員に思わせることです。

まず、断る時に、「いいです」「結構です」というあいまいな返事は禁物です。「契約してもいいです」「契約して結構です」と、契約を了承した解釈もできるため、トラブルの原因になってしまいます。

次に、早い段階で「購入するつもりはありません。今後一切電話しないでください」と、勧誘員が商品の詳しい説明に入る前に断ることです。勧誘員は言葉巧みです。聞けば聞くほどその話術に惑わされ、断るどころか契約してしまう可能性もあります。

勧誘員の目的は、契約させ、利益を上げることです。このような対応をすることで、「これ以上勧誘しても無駄だ」と思わせることが重要です。

なお、電話勧誘で契約してしまった場合、一定の条件を満たしていれば、契約解除ができる制度もあります。

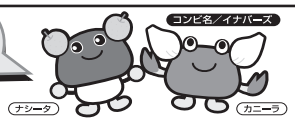
また、しつこい勧誘でお困りの場合は、その業者の名称、担当者名、電話番号をお聞きとりのうえ、市民総合相談センターへご相談ください。

《予防のアドバイス》

発信番号表示サービスを利用すると、再勧誘の電話を着信拒否に設定することができます。詳しくは電話会社にご相談ください。※有料サービスです。

消費生活相談窓口
（市役所駅南庁舎1階41番窓口）
受付時間　8:30～17:00
休 業 日　土日、祝日、年末年始
TEL（0857）20-3863　FAX（0857）20-3864
MAIL syohisoudan@city.tottori.lg.jp

2009 鳥取・因幡の祭典 まるごと情報便



秋のイベント ★ピック★アップ★ 八頭町

■八頭町めぐりスタンプラリー
とき：好評開催中! ～12月15日（火）　ところ：八頭町協賛店
一定のスタンプを集めた方の中から抽選で八頭町の特産品をプレゼント。

■フルーツ味覚めぐり
とき：好評開催中! ～12月10日（木）　ところ：八頭町一円
時期ごとにフルーツを買い求めていただいた方の中から抽選で特産のフルーツをプレゼント。

■こおげフレンドセンター祭り
とき：12月12日（土）・13日（日）　ところ：こおげフレンドセンター
地場特産品、やまめの塩焼などの販売のほか、豚汁のサービス、もちつきなどもあります。

問い合わせ先　2009鳥取・因幡の祭典八頭町核イベント実行委員会
TEL 0858-76-0208

冬のイベント ★ピック★アップ★ 若桜町

■氷ノ山自然ふれあい館 響の森イベント
とき：2010年1月～3月　ところ：氷ノ山自然ふれあい館響の森
★スノーシューハイク（1月9日（土）：入門編、1月10日（日））
スノーシューを履いて森の中を歩きます。動物の足跡や木の芽など、出会いがいっぱいです。（要予約）
○料金／大人：2,000円、小中学生：1,000円
※ 以降のイベントは次号をご覧ください。

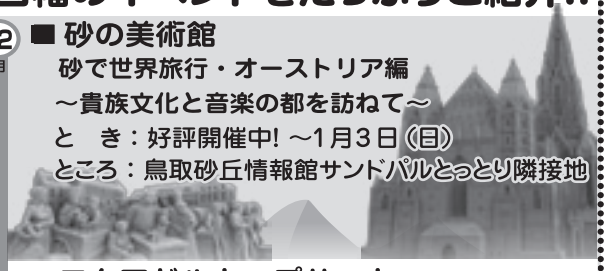
問い合わせ先　氷ノ山自然ふれあい館 響の森　TEL0858-82-1620

冬のイベント 12月

見て・来て楽しさ溢れる 因幡のイベントをたっぷりご紹介!!

12月

■砂の美術館
砂で世界旅行・オーストリア編
～貴族文化と音楽の都を訪ねて～
と　き：好評開催中! ～1月3日（日）
ところ：鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり隣接地



■エクアドルカップサッカー
（中学生の部）
と　き：12月6日（日）・20日（日）
ところ：鳥取市蔵田
（とりぎんバードスタジアム）

■鳥取砂丘イリュージョンⅧ
と　き：12月12日（土）
～26日（土）
ところ：鳥取砂丘市営駐車場
周辺及び鳥取砂丘
馬の背周辺

■問い合わせ先：2009鳥取・因幡の祭典実行委員会事務局　TEL 0857-27-8001　http://www.tottori-inaba.jp/　因幡の祭典　検索

差別のない社会へ

どんな人にも情報が届くように

点訳資料を作成しています

問い合わせ先　市役所本庁舎人権推進課 TEL（0857）20-3144
財団法人鳥取市人権情報センター TEL（0857）24-3125

現代の情報のほとんどは、音、文字、映像によって得ることができます。しかし、このような方法で情報を得られない場合、どうすればいいでしょうか。例えば、視覚に障がいのある人には、「見る」かわりに「触る」ことで情報を得られる「点字」があります。

何気なく情報を得るために

日々の生活の中で、みなさんはどのように情報を得ているでしょうか。テレビやラジオ、インターネット、新聞や雑誌など、さまざまな情報媒体があります。

そのうち、テレビやラジオ、インターネットは、音声によって情報を得ることができ、視覚に障がいのある人にも利用できます。

ところが、視覚に障がいのある人は、一般の印刷物からは情報を得ることができません。印刷物のメリットは、ふとページをめくり、新鮮な驚きを持って何気なく情報を得られること。そんな文字情報のメリットを視覚に障がいのある人にも享受できるように開発されたのが「点字」です。

ルイ・ブライユ

フランスで生まれた6点式点字

現在の日本語用の6点式点字の原型となったアルファベット用の6点式点字は、フランスのルイ・ブライユが発明しました。ちょうど200年前の1809年に生まれたブライユは、3歳の時の事故で左目を失明し、感染症により5歳で全盲となりました。パリ盲学校に在学中の1824年、それまでの12点式の点字に代わり、6点式の点字を発明し、広く普及しました。フランス語や英語、ドイツ語などで「点字」を表す言葉は、彼の名を取り「ブライユ」と呼ばれていることからも、彼の功績の大きさが伺えます。

凸点で表される大事な情報

日本語用の6点式点字は、今から150年前の1859年に生まれた石川倉次（いしかわくらじ）が、東京盲唖（もうあ）学校に勤務していた1890年に開発しました。

縦3列×横2行に凸点（とってん）を組み合わせて配置し、五十音、句読点、疑問符、感嘆符を表現します。濁音や半濁音、促音などは、6点のセットを2組使って表現します。

最近ではユニバーサルデザインの考え方が普及し、普段の生活でも点字に触れる機会が多くなりました。

缶の形だけでは判別がつきにくかったビールなどは、プルトップの近くに「おさけ」「ビール」などの文字と同時に、それらを表す点字が刻印されています。

また、エレベーターのボタンの近くには点字が併記されていますし、手すりや自動販売機、ATMにも表記されるようになっています。

日常の情報も点字で

日常生活を送るためには、さまざまな情報が必要になります。ごみの分別方法、バスの時刻表、利用することのできる福祉施策を記載した福祉の手引きなどなど。

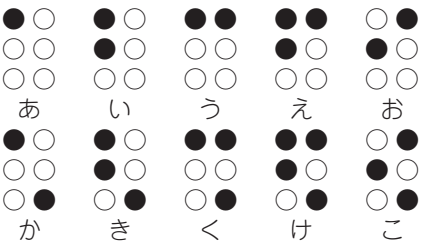
これらの点訳した資料は、財団法人鳥取市人権情報センターでお手に取っていただけます。どうぞご活用ください。

点字だけでなく、一言を

点字は、情報の入手に大きく貢献しています。しかし、視覚に障害がある場合、それだけで日常生活を円滑に送れるわけではありません。

「手伝えることはありますか」。その一言で、お互いに通じ合い、ともに地域の仲間として生活していくことができるのです。

点字の例



五十音と句読点は、6点を一組、濁音や半濁音（「が」や「ぱ」など）、促音（「きゃ」など）は、6点を2組使って表現します。